

原強プ第15号
平成27年2月18日

島根県知事 溝口善兵衛様

中国電力株式会社
取締役副社長
原子力強化プロジェクト長
小野 雅樹

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成27年2月3日に開催された、第12回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成22年3月30日付け消防第2738号および平成22年10月19日付け消防第1054号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第12回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

以上

第12回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

- 開催日時 平成27年2月3日(火) 13時55分～16時20分
- 開催場所 ホテル白鳥 鳳凰の間(島根県松江市千鳥町20)
- 出席者 [社外委員] 梅林委員, 亀城委員, 高尾委員, 高橋委員, 豊田委員(座長), 野津委員
※山浦委員は欠席
[社内委員] 小野原子力強化プロジェクト長, 清水副社長, 古林常務

○ 議事内容

1. 開会あいさつ(小野幹事)

- ・今回, 通算で12回目となる有識者会議を開催する。
- ・これまで委員の皆様からは様々なご意見をいただき, また, いただいたご意見を反映しながら, 当社は, 二度と同様の問題を起こさないという強い決意のもと, 「原子力品質マネジメントシステムの充実」と「原子力安全文化醸成活動の推進」を二つの柱とする再発防止対策と信頼回復に取り組んできた。
- ・「原子力部門の業務運営の仕組みの強化」や「不適合管理プロセスの改善のための施策」を今年度も確実に実施するとともに, 安全文化醸成活動の推進により点検不備問題の風化防止等に取り組んできたので, 本日はその実施状況, 評価について説明させていただく。
- ・また, 2つ目の議題としては, 「当社の原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて」を採り上げる。当社が自主的・継続的に取り組んでいる原子力の安全文化醸成活動を通じて, 社員の意識・行動をさらなる高い水準へ引き上げたいという思いで取り組んでおり, これについても, 委員の皆さまのご意見を反映していきたい。
- ・情報提供として, 島根原子力発電所2号機の新規制基準への適合性確認申請に関する至近の審査状況および訓練状況等について説明させていただく。
- ・本日も忌憚のないご意見やご提言をいただくようよろしくお願い申し上げます。

2. 議事

資料に基づき, 電源事業本部部長 本田および原子力強化プロジェクト部長 千葉から「点検不備に係る再発防止対策の平成26年度取り組み状況・評価・次年度計画等について」を説明し, 電源事業本部部長 本田から「中国電力の原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて」を説明した。

主な意見は, 以下のとおり。

(1) 点検不備に係る再発防止対策の平成26年度取り組み状況・評価・次年度計画等について

- ・不適合情報をホームページで公開しているとのことだが, 不適合の内容や処置の説明は, 一般市民にもわかり易い形での公開を継続していただきたい。
- ・「報告する文化」「常に問いかける姿勢」に関するアンケート結果について, 安全文化の意識は上昇して維持しているとのことだが, どちらでもない, あまり思わないという回答も残っている。現状に満足するのではなく, もう一段上を目指した取り組みをお願いしたい。
- ・社内表彰等で褒める取り組みをされているとのことだが, 所員のモチベーションアップのため, ぜひ継続していただきたい。
- ・今後は地元の理解を得ることが益々重要になってくるので, 地元との対話活動について, 積極的に活動していただきたい。
- ・安全文化を醸成するためには, 小さなことでも報告するということを徹底していけば, 風通しがよ

くコミュニケーションが取れる組織になっていくのではないかと考える。

- ・「自分が上司などに気がかりな事柄を報告した場合、その後に対応状況や対応結果をきちんと知らされていますか？」というアンケートに対する肯定意見が80%となっている。報告した方は、結果がどうなったか非常に気になるものであるため、これが100%に近づくよう取り組みをお願いする。

(2) 中国電力の原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて

- ・使用済み燃料の問題など、原子力については今後も議論すべき課題が多く、原子力関係者が減ってしまうのはよくない。社員が誇りをもって仕事ができるような状況を作らなければならない。
- ・モチベーションの低下が安全に影響を及ぼす可能性もあるため、留意していただきたい。
- ・点検不備以降、安全文化醸成活動をよく継続されていると評価している。
- ・過去の安全文化講演会は、内容的に大変面白いものをおられる。講演を聞いただけでは忘れてしまうので、講演の内容を要約するなどして教材として活用されたらどうか。
- ・取り組みを見える化していくことが必要である。さらに、原子力関係の説明内容については、わかり易く、やさしく情報発信をして欲しい。

(3) 島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況他について

電源事業本部専任部長 山本から島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況他について情報提供し、質疑を行った。

3. 閉会あいさつ（小野幹事）

活発な議論に対して感謝の意を表すとともに、有識者委員からの提言を今後の活動に反映する旨について述べた。

以上